

# 第5学年 社会科学学習指導案

令和4年10月12日(水)

対象 5年3組 32名

授業者 主幹教諭 佐藤 将宏<sup>☒</sup>

栄養教諭 三木なほみ<sup>☒</sup>

## わくわく・どきどき・チャレンジ蔵前

目指す児童像

他者と協働することで、多様な考えに触れ、学びを深める子

### 1 単元名

「これからの食料生産とわたしたち」(5時間)(東京書籍 5年上)

### 2 単元の目標

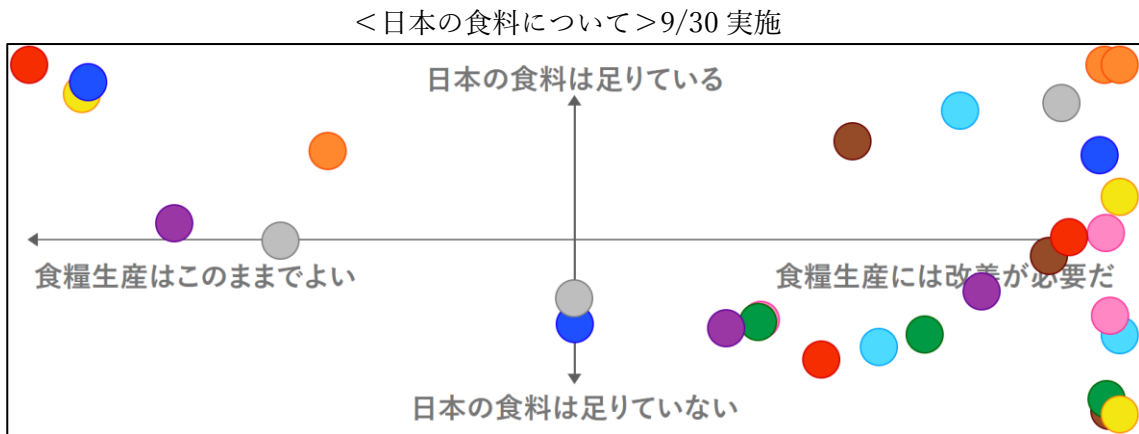
我が国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取組等に着眼して、各種の資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにする。さらに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとにこれからの農業・水産業などの発展について考えようとする態度を養う。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	<p>①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取組等について、地図帳や地球儀、各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、食料生産の課題を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。</p>
思考・判断・表現	<p>①食料自給率や輸入など外国との関わり、食の安全・安心への取組等に着眼して、問いを見出し、食料生産の課題について考え表現している。</p> <p>②食料自給率と食生活の変化を関連付け、食料生産について学習してきたことを総合し、食料生産の課題について考え、学習したことをもとに消費者や生産者の立場などから多角的に考えてこれからの食料生産の発展について考え表現している。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>①これからの食料生産について、生産者の新しい取組を調べ、学習問題を追究・解決しようとしている。</p> <p>②学習したことをもとに、これからの農業・水産業の発展について考えようとしている。</p>

#### 4 児童の実態

# 略



#### 5 単元について

##### ○教材観

本単元は、学習指導要領第5学年の内容(2)イ(ア)「生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること」を受けて設定されている。児童は、1学期に農業や水産業に関する学習を通して、安全でおいしい物を届ける工夫や努力だけではなく、「就業者の高齢化」「食生活の変化に伴う消費量の減少」といった問題が生じていることを学習してきた。当たり前のように口にしている食料は、国内外の人の手によって作られていること、さらに食料生産における諸問題を解決するために生産者や政府などが様々な取組を行っていることの意味に気付くことは、これからの日本の食料生産や食料確保を進める上で、非常に重要なことである。児童自らが食料生産を支える消費者としての自覚をもつきっかけとなり、どのような取組を進めていけばよいか、考え実践する。我が国の食料生産に関わる様々な問題やその解決に向けて努力する人々の姿を学習することを通して、消費者と生産者双方の立場から、我が国の将来の食料生産の在り方について学ぶ上で意義があると考え。

##### ○栄養教諭がティーム・ティーチングで指導することについて

現在の給食における食の問題を取り上げ、児童に日本の食料生産の問題点を見出せるようにする。また、大量の食料を輸入している一方で大量の「食品ロス」が発生していることに気付かせ、食生活の在り方を考えさせる。食育については、児童は1年生の頃から食についての学びをしてきている。4年生の時には、総合的な学習の時間で「野菜はどこから」をテーマに給食に使用されている野菜が日本各地から届いていることを学習した。本単元では、野菜以外の食材にも着目させて学習させたい。このことにより、食育の視点を<食品を選択する能力>とし、私たちの食生活は外国から輸入されている食料にも支えられていることから、正しい知識・情報に基づいて、自ら判断し、食品を選択する能力を身に付けさせたいと考えた。

6 研究主題に迫るための手立て

「他者と関わり協働する力」を向上させるための工夫

手立て① 友達と関わり合い学び合う学習活動の工夫

- ・考えを深めるために、個人で考えを深めるために資料を数種類（本時・展開4）用意する。
- ・課題を深めるために、個人・グループ・全体で学び合う場を作る。

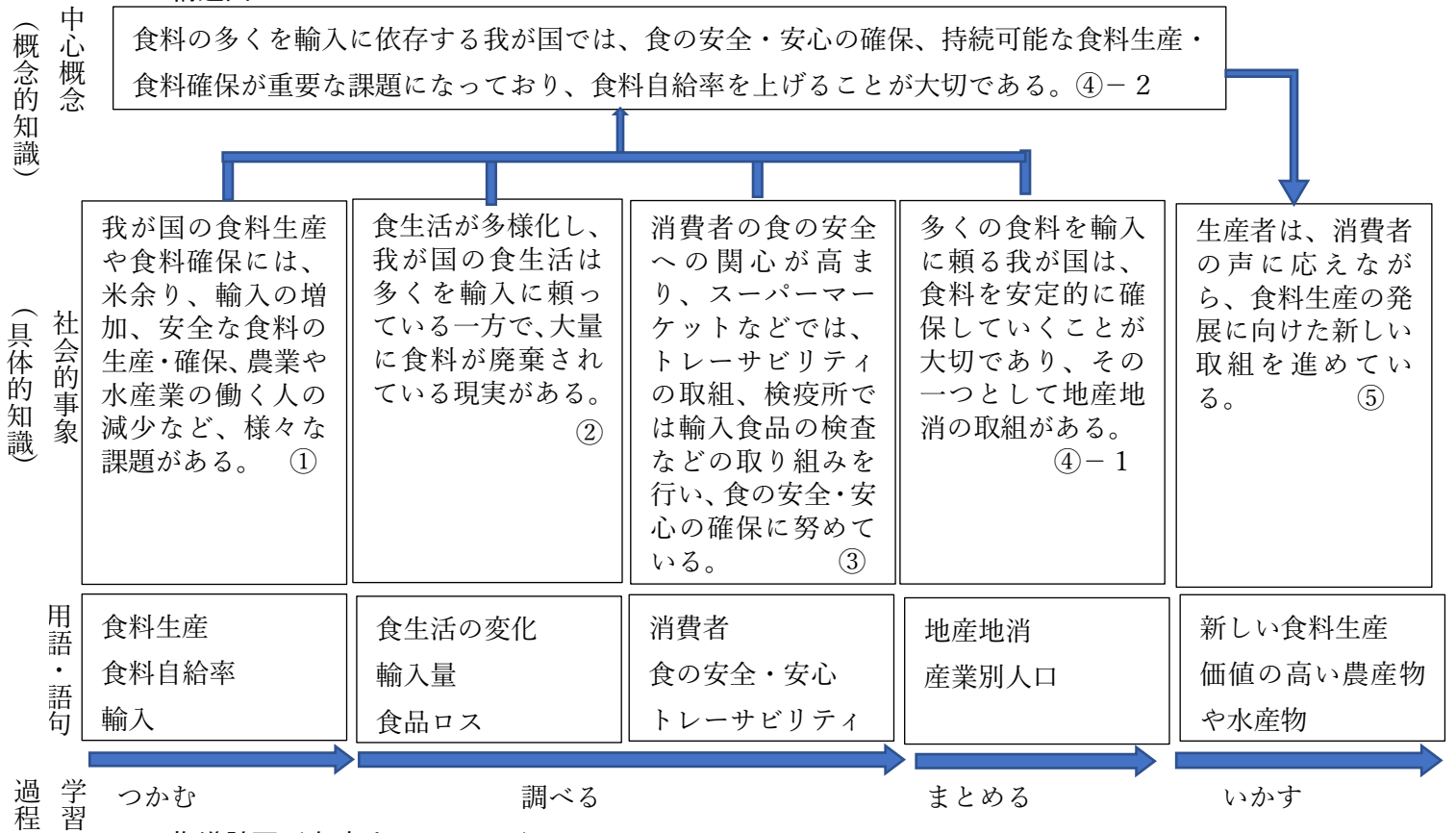
手立て② 問いの工夫

- ・児童が学習問題を理解し、日本の食料自給率が下がったことに着目し、現在の食生活の問題を捉え、主体的に学習に取り組むようにする。 (理解の問い)
- ・学習問題に対して、各自の考えに合った資料を選び課題解決に取り組むようにする。 (方略の問い)
- ・学習問題に対して、分かったことや気付いたことをもとに、自分の考えをノートに記すようにする。 (振り返りの問い)

手立て③ ICT 活用の工夫

- ・学習に対して児童の考えを把握するためにタブレットのスクリーンショットの機能を使用し、学習に取り組む前と学習後の変容をみる。
- ・児童の理解を深めるための視覚的提示資料を複数用意して、場面にに応じて提示する。

7 構造図



8 指導計画（本時は 2 / 5）

時	○主な活動内容 ・児童の反応	◎指導上の留意点 ☆栄養教諭による指導 □評価 ・手立て
---	----------------	---------------------------------

1	<p>日本の食料生産をめぐる課題について考えよう。</p> <p>○農業や水産業の学習を振り返り、どのような課題があったかを話し合う。</p> <p>○日本と主な国の食料自給率について調べ、疑問に思うことを話し合い、学習問題をつくる。</p> <p><b>学習問題</b>日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産をどのように進めたらよいのでしょうか。</p>	<p>◎教科書やノートをもとに、農業や水産業の学習を振り返らせる。</p> <p>☆栄養教諭が日本の食料自給率が下がったことに気付かせる。</p> <p>◎食料自給率の変化に着目させて、疑問に思うことを発表させる。</p> <p>☑予想や学習計画を立て、学習問題を解決する見通しをもっている。(ノートの記述・発言)</p> <p>手立て②</p>
2 (本時)	<p>食生活の変化は食料生産にどのような影響をあたえたのだろう。</p> <p>○写真を比較し、食生活の変化について考える。</p> <p>○食生活の変化や食料品別の輸入量の変化の関係を資料で調べる。</p> <p>○日本の食料自給率が低いことの問題点について考える。</p>	<p>☆栄養教諭が昔の食事内容と現在の食事内容の写真を比較させ、児童にそれぞれの特徴に気付かせる。</p> <p>◎いつ頃からどのような食料品の輸入が増えているか気付かせる。</p> <p>☑食料生産・食料確保が課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。(ポジショニング機能・ノートの記述)</p> <p>☑食生活が変化してきたことや、それにもなった食料生産の課題について考えを表現している。(発言・ノートの記述)</p> <p>手立て①②③</p>
3	<p>食の安全・安心に対する取組は、どのように行われているのだろう。</p> <p>○食の安全・安心に対する取組について知ること、輸入食品で問題になること等を話し合う。</p> <p>○給食食材の納入業者(丸幸水産)から食の安全・安心のためにどのような取組をしているかを聞く。</p> <p>○調べたことをもとに、安全・安心に対する取組がどのように行われているかを考え、話し合う。</p>	<p>◎産地を表示した牛肉パックの写真や食の安全に関する新聞記事や干ばつ被害にあった作物の写真を見せ関心を高める。</p> <p>◎食材を取り扱う方をゲストティーチャーとして招き、安全・安心の確保のための工夫や仕組みに着目させる。</p> <p>☆栄養教諭から食材を選ぶ上で、どのようなことに注目しているか伝え、消費者の視点に気付かせる。</p> <p>◎食料品の輸入のために多くの燃料が輸送に使われていることにも気付かせる。</p> <p>☑必要な情報を集め、読み取り、食の安全・安心への取組について理解している。(ノートの記述)</p> <p>手立て①②③</p>

4	<p>食料を安定して確保し続けるためには、どのようなことが大切だろう。</p> <p>○産業別の人口の割合の変化及び土地利用の変化のグラフから食料の安定確保にとって課題になることを話し合う。</p> <p>○農業協同組合の方の話をもとに食料を安定して確保するために大切なことを調べ考えたことを話し合う。</p> <p>○これまでに調べたことを書き出す。</p> <p>○書き出したことをもとに、これからの食料生産で大切だと思うことを発表し合う。</p>	<p>◎農業や水産業の学習と関連付けて考えさせる。</p> <p>◎地域での取組にも目を向け、これから大切だと思うことを考え、まとめさせる。</p> <p>☆栄養教諭が取組の一つとして地産地消について考えさせる。</p> <p>☒食の安全・安心の確保、持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題であることや食料自給率を上げることが大切であることを理解している。(ノートの記述)</p> <p>手立て①②③</p>
5	<p>新しい食料生産の工夫を紹介し合い、これからの食料生産について考えよう。</p> <p>○新しい食料生産の工夫について、グループ内で分担して調べ、発表し合う。</p> <p>○これからの食料生産に対する考えをノートにまとめる。</p>	<p>◎タブレットを活用し、生産者が行っている取組について調べさせる。</p> <p>◎生産者や消費者の立場から考えられるように助言する。</p> <p>☒食料生産について学習してきたことを総合して、これからの食料生産の発展について考え、表現している。(発言・ノートの記述)</p> <p>☒学習したことをもとに、これからの農業などの発展について考えようとしている。(ノートの記述)</p> <p>手立て②③</p>

## 9 本時の学習 ( 2 / 5 )

### (1) 目標

- ・食料生産・食料確保が課題であることを理解する。 (知識及び技能)
- ・食料自給率と食生活の変化を関連付けて調べ、自分たちの豊かな食生活が大量の輸入で支えられていることについて考える。 (思考力・判断力・表現力)


### (2) 展開

	学習活動 ・ 予想される児童の反応	◎指導上の留意点 □評価 ○資料
導入	<p>1 前時を振り返り、食料自給率が下がった理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国産が安いから。</li> <li>・日本で作れない食料を輸入しているのではないか。</li> <li>・日本で食べられているものが変わってきているのかもしれない。</li> </ul>	<p>◎食料自給率の推移を確認するグラフを提示する。</p> <p>◎食料自給率が下がった理由について問いかけ、食生活の変化が一つの可能性としてあることに気付かせる。</p>
<p>食生活の変化は食料生産にどのような影響をあたえたのだろうか</p>		


<p>展開</p>	<p>2 昔の給食と現在の給食の写真を見て食生活の変化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は米を多く食べていたけれど、パンやめんを食べる人が増えた。</li> <li>・魚ではなく肉を食べるようになった。</li> <li>・いろいろな物が食べられるようになった。</li> <li>・食生活の変化が食料生産に影響しているかもしれない。</li> </ul> <p>3 食生活の変化と食料品別の輸入量の変化の関係を資料で調べ、食生活にどのような変化があったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小麦や畜産物（肉）が増えた。</li> <li>・米が減っている。</li> <li>・油脂が増えた。</li> </ul> <p>4 食料自給率が下がるとどのような影響があるか考える。グループで話し合い、全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸入ができなくなると、日本は食べるものに困る。</li> <li>・安定して食料を輸入し続けられないかも。</li> <li>・日本の生産者が食べ物を作らなくなる。</li> <li>・たくさん輸入しているにもかかわらず、食品ロスの問題がある。</li> </ul>	<p>◎写真を見ながら、自分たちの食生活が多様化してきたことに気付かせる。㊦</p> <p>○パワーポイント・写真2種類</p> <p>◎昔の給食と現在の給食の特徴の違いに気付かせる。㊦</p> <p>手立て②③</p> <p>◎いつごろから小麦や肉、乳製品等の輸入量が増えているのかを着目させる。日本の食料自給率が下がったことを確認する。</p> <p>○グラフ2種類</p> <p>◎1960年度と2017年度のグラフから食生活の変化を簡単に予想することで変化の大きい品目について着目させる。</p> <p>◎輸入に頼らずに給食を作ると、一食分の食事として提供できないことに気付かせる。㊦</p> <p>○パワーポイント</p> <p>◎農林水産省のキッズページ、SDGs等の資料をもとに考えさせる。</p> <p>㊦食料生産・食料確保が課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解している。</p> <p>㊦食生活が変化してきたことや、それにともなった食料生産の課題について考えを表現している。</p> <p>手立て①</p>
<p>まとめ</p>	<p>5 本時で学習したことを振り返り、自分の考えをポジショニングに記す。</p>	<p>◎栄養教諭より輸入食材の高騰化による現在の給食の問題点に気付かせる。㊦</p> <p>○動画・パワーポイント</p> <p>手立て③</p> <p>◎次回の内容について知らせる。</p>

# 10 板書計画

食生活の変化は食料生産にどのような影響をあたえたのか



→地域の食材



→食の多様化

グラフ 1

---

---

---

---

---

---

---

---

グラフ 2

---

---

---

---

---

---

---

---

話し合いのまとめ

# 11 使用する資料



**給食に使われている食材 洋食**

スパゲッティ  
ミートソース

にんにく  
しょうが  
たまねぎ  
にんじん  
マッシュルーム

さとう  
グリーンピース



きよみオレンジ

ツナ  
サラダ


きゅうり  
きゃべつ  
さとう

**給食に使われている食材 和食**

ごま入り  
煮浸し

ほうれんそう  
もやし  
きゃべつ  
さとう

ごはん  
米



魚の  
香味焼き

長ねぎ  
しょうが  
にんにく

五目みそ汁

じゃがいも  
だいこん  
にんじん  
ねぎ

